

神田警察通り賑わい社会実験 2016

□目的

まちに対する声を集め、見える化、共有化して、皆さんと一緒に神田警察通り周辺の将来を考えるきっかけをつくります。

□実施主体

主催 神田警察通り賑わい社会実験実行委員会（神田警察通り沿道整備推進協議会、UR都市機構）

後援 千代田区 ／協力 大学、公共R不動産、株式会社コトブキ

□実施日

平成28年11月24日（木）～11月25日（金）

（前後調査を11/22（火）及び11/26（土）に実施）

□実施内容

1. 歩行者の行動調査・・・11/22（火）、24（木）、26（土）
2. ワークショップ・・・11/24（木）、25（金）
3. ミニ社会実験・・・11/24（木）11時～15時（雨天時11/25順延）



□協議会での確認事項

1. 神田警察通り沿道整備推進協議会の活動の一環として**実行委員会**組織とします。
2. 実行委員会の事務局として**UR都市機構**が道路使用許可等の**諸手続を実施**します。
・神田警察通り賑わい社会実験実行委員会 2016 調査実施責任者 三木弘之
3. 調査方法は、昨年度の大手町川端緑道における実績（ゲールアーキテクト）を活用

この町にアナタのいい場所つくりませんか？



どんなライフスタイルやワークスタイルが
実現できるかを考える

ミニ社会実験&ワークショップ

トークセッション&ワークショップ

2016.11.24_{THU} 11:30—15:00
ミニ社会実験 & ワークショップ

2016.11.25_{FRI} 18:30—21:00
トークセッション & ワークショップ

将来の神田警察通りを車中心から人中心の
通りに変え、周辺にお住まいの方や働く方にと
っての、未来のライフスタイルやワークス
タイルを考えるため、トークセッション&ワーク
ショップと小さな社会実験を開催します。

2016.11.24_{T^H} — 25_{F^R}

24_{T^H} 11:00 — 15:00 ミニ社会実験 & ワークショップ（雨天時は25日に実施）

車道の一部にテーブルやイスを配置し、誰でも自由に利用できる居場所スペースで、まちの将来について話を伺います。無料のコーヒー等も配布予定。

25_{F^R} 18:30 — 21:00 トークセッション & ワークショップ

ゲストによる先進事例や海外事例を交えたトークセッションのあと、未来の神田のライフスタイル・ワークスタイルを語り合うワークショップを実施。

GUEST

ゲール・アーキテツ
クリエイティブディレクター | David sim 氏

（以下、日本語で記載された内容は、英語で記載された内容と一致するものと見做す。）

GUEST

公共R不動産 | 馬場 正尊 氏

（以下、日本語で記載された内容は、英語で記載された内容と一致するものと見做す。）

定 員 40名 | 申込者が募集定員を上回った場合、
参加する方の年齢や居住地、男女構成等を考慮し選考いたします。

申し込み方法 氏名、年齢、性別、住所、電話番号をEメールもしくはFAXで下記までお送りください。

Eメール	kanda-pj@ur-net.go.jp	F A X	00-0000-0000
------	-----------------------	-------	--------------

申込期限 2016.11.18_{F R I}



神田警察通り賑わい社会実験とは

魅力的で賑わいのある将来の神田警察通りの実現に向けて、地域の方々や専門家と一緒に進めているプロジェクトです。2016年11月の通行者の行動調査やミニ社会実験、ワークショップをふまえて、2017年本格実施予定の社会実験に向けて、準備を進めています。

主催：神田警察通り賑わい社会実験実行委員会（神田警察通り沿道整備推進協議会・UR都市機構）
後援：千代田区 協力：公共R不動産・(株)コトブキ
問合わせ所管：UR都市機構東日本都市再生本部 事業企画部 事業企画第Ⅰグループ（担当者：月岡・石垣）
電話番号：03-5323-0421 Eメール：kanda-pj@ur-net.go.jp